

第12回 第二言語習得研究会全国大会

時：平成13年12月15日（土）、16日（日）

所：南山大学D棟DB1教室

第1日 12月15日（土）

12時40分 受付開始

司会：坂本 正（南山大学）

1時 開催校代表挨拶 伴紀子（南山大学）

開会の辞 カッケンブッシュ寛子
（名古屋外国語大学・第二言語習得研究会会長）

1時5分 基調講演（1）
田中真理氏（電気通信大学）
「ヴォイスの習得 - L1とL2 proficiencyの観点から -」 4

2時 基調講演（2）
深田 淳氏（パデュー大学・南山大学）
「日本語語用能力の習得と日本語教育」 16

2時55分 休憩（20分）

3時15分 パネルディスカッション
テーマ：「日本語の自然習得」

司会：長友和彦（お茶の水女子大学）

エレン ナカミズ氏（京都外国語大学）
「在日ブラジル人における日本語モダリティ表現の習得
- 終助詞「ね」の使用をめぐる -」 26

平高史也氏（慶応大学）
「第2言語としての日本語における時間性表現の習得
- ブラジル出身移住者の場合 -」 34

宮崎里司氏（早稲田大学）
「外国人力士の日本語習得－学習環境と自然習得－」 44

5時30分 懇親会 ポン・マルシェ 司会：坂本 正（南山大学）

第2日 12月16日（日）

研究発表

司会： 大塚 容子（岐阜聖徳学園大学）

10時 松本恭子氏（南山大学大学院）
「ある中国人児童、来日3年間のテ形使用実態
－発話資料と作文資料の分析－」 52

10時30分 川口直巳氏（名古屋大学大学院）
「ブラジル人児童生徒のL1の習得レベルがL2での教科学習に及ぼす
影響－算数文章課題の理解を通して－」 58

11時 生田裕子氏（中部大学）
「ブラジル人中学生の日本語能力と母語能力の関係
－作文のタスクを通して－」 64

11時30分 岡部悦子氏（早稲田大学大学院）
「高校交換留学生のコミュニケーションの分析
－協同課題解決場面を事例として－」 70

12時 休憩（90分）

司会： 大曾 美恵子（名古屋大学）

1時30分 臼杵美由紀氏（北陸大学）
「中国人上級日本語学習者ピリーフからの視点
－学習者自律意識をどう捉えるか－」 76

2時 木暮律子氏（名古屋大学大学院）
「日本語学習者の発話権取得に見られる特徴
－情報提供発話を受け継ぐ場合－」 81

2時30分 花城可武氏（オーストラリア国立大学大学院）
「文法性判断テストを使った条件文の習得状況
－正解率と確信度スケールを用いて－」 87

3時 藤岡典子氏（シンシナティ大学）
「大学レベルにおける日本語授業での
誤り訂正に対する意見と学習者要因との関係」 93

休憩（10分）

司会： 坂本 正（南山大学）

3時40分 総会、閉会の辞 カッケンブッシュ寛子
(名古屋外国語大学・第二言語習得研究会会長)